

風姿行雲

■杵屋巳三郎

人間国宝七世杵屋巳太郎、東音福田克也に師事。1990年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。演奏会、舞踊会、歌舞伎公演等、さまざまな舞台に出演、海外公演も多数。2004年中村勘九郎名跡最後の舞踊公演立唄を務める。長唄白風会主宰。長唄協会演奏委員、長唄東音会同人。国立劇場養成課講師。



■杵屋佐喜

父は江戸時代より続く長唄佐門会家元・七代目杵屋佐吉。6歳で国立大劇場にて初舞台。長唄を人間国宝・杵屋佐登代、今藤尚之に、三味線を祖父・五世杵屋佐吉、田島佳子の各氏に師事。玉川大学文学部芸術学科声楽専攻卒業。2002年、父の前名である佐喜の名を三代目として襲名。現在長唄の唄方として全国各地の演奏会、歌舞伎公演、日本舞踊会、NHK『にっぽんの芸能』等のテレビ、ラジオに出演多数。『市川海老蔵 Grand Japan Theater NY・カーネギーホール公演』『平成中村座スペイン公演』他、海外公演へも参加。音楽教科書の執筆、監修にも携わる等、長唄の普及活動にも積極的に取り組んでいる。一般社団法人長唄協会会員。



■今藤政子

東京都出身。父は清元三味線方の清元美治郎。幼少の頃より長唄を伯父である人間国宝・今藤政太郎に、囃子を祖母である藤舎せい子に師事。1990年、今藤政子の名を許される。1994年、東京藝術大学邦楽科を長唄囃子専攻で卒業。卒業後は長唄唄方に専念。以後、国立劇場、紀尾井ホールなどでの演奏会や舞踊会、NHK放送などに出演。国立音楽大学非常勤講師。長唄ひなの会同人。



■萩岡松柯

幼少より父・四代目萩岡松韻に箏の手ほどきを受ける。五代鳥居名美野に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中、常英賞、浄観賞、アカンサス新人賞、同声会新人賞受賞。のち、同大学大学院修士課程、博士課程修了。音楽博士号（山田流箏曲）取得。在学中学内において第1～4回「博士りさいたる」を開催。卒業時に中能島賞受賞。在英国日本大使館にて、同大使館主催「邦楽の夕べ」に出演。英国王立音楽アカデミーにて、「邦楽ワークショップ」に出演。2019年、芸名を萩岡未貴から（五代）萩岡松柯に改名。日本三曲協会、山田流箏曲協会、現代邦楽作曲家連盟、箏曲新潮会、古曲会、萩岡會に所属。演奏会、舞踊公演、NHK ラジオ、CD 収録等、多数出演。



■今藤長龍郎

長唄唄方今藤尚之の長男として生まれ、今藤綾子師(人間国宝)に入門。1980年に面かぶりで舞台。1985年、四世家元今藤長十郎師より今藤長龍郎の名を許される。東京藝術大学音楽学部邦楽科長唄三味線専攻卒業。菊岡裕晃・田島佳子・味見亨の各氏に師事。在学中、浄観賞受賞。現在、歌舞伎公演・演奏会・日本舞踊演奏・洋楽とのコラボレーションなど、歌舞伎座、国立劇場、紀尾井ホールなどで演奏・作曲活動を行う。今藤会会員、現代邦楽作曲家連盟会員、創邦21同人、長唄五韻会同人、国立音楽大学非常勤講師。



■山野安珠美

沢井忠夫、沢井一恵の両氏に師事。平成19年度山口県芸術文化振興奨励賞、平成28年度エネルギー音楽賞受賞。NHK邦楽技能者育成会第44期、平成14年度文化庁新進芸術家国内研修員を経て、ロシアでのオーケストラとの共演、ソロリサイタルをはじめ、欧米各地での音楽祭参加、文化庁・国際交流基金の派遣による演奏ツアー、アンコールワット等世界遺産での演奏など、海外公演は凡そ40カ国。国内においても様々な可能性を求め、ジャンルの異なる演奏家との共演、『題名のない音楽会』『にほんごであそぼ』等TV・ラジオ出演、新作歌舞伎やフラメンコ等舞台音楽制作、CD録音への多数参加など、幅広い音楽活動を展開。沢井箏曲院師範。



■森梓紗

母の影響で9歳より箏をはじめ。川村昌子、八島興作、沢井一恵の各氏に師事。第25回賢順記念全国箏曲コンクール銀賞受賞、第6回利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞、東京藝術大学にて安宅賞、同声会賞受賞。NHK「にっぽんの芸能」、テレビ朝日系「題名のない音楽会」はじめメディア方面へも出演。東京藝術大学音楽学部邦楽科現代箏曲専攻を第一期生として卒業、同大学修士課程在籍中。沢井箏曲院教師、首席登第並びに会長賞受賞。



■市川慎

生田流箏曲『清絃会』三代目家元足達清賀の息子として生まれる。高校卒業後、沢井忠夫、一恵両氏のもとに内弟子として入門。沢井比河流、一恵両氏に師事。第7回長谷検校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣奨励賞受賞。第59回全国植樹祭において天皇皇后両陛下の前で御前演奏。歌舞伎座にて坂東玉三郎主演「二人静」の作曲、箏手付をし、出演他、歌舞伎や舞台、様々なアーティストの音楽にも多数参加。国内で演奏のみならず、40ヶ国近い海外公演を行っている。また様々なユニットのメンバーとしても活動している。清絃会副会長。沢井箏曲院講師。国立音楽院講師。



■マクイーン時田深山

オーストラリア生まれ。即興、現代音楽、オリジナル曲を演奏し、ジャンルの境目に関係なく現代人が面白い、聴きたいと思える音楽を箏で作るという考えで独自の方向を目指す。ソロに加え様々な形での共演も多く、世界中から来日する表現者との共演に加え、海外での招聘演奏も増えている。共演している団体には日本フィルハーモニー交響楽団、バンクーバー交響楽団、Australian Art Orchestra 等。2019年にはACCのグランティとして半年間ニューヨークに滞在し、現代音楽と即興に関わる。小田村さつき、沢井一恵に師事。東京藝術大学音楽研究科修士課程修了。



■福原寛

福原流笛方。人間国宝福原流宗家四世寶山左衛門師に手ほどきより師事。師より福原寛の名を許される。重要無形文化財江戸里神楽を、四世家元若山胤雄師に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。現在、各地にての笛リサイタル、歌舞伎、日本舞踊、長唄演奏会などの演奏活動の他、テレビやラジオ放送、海外演奏などにも参加。又、様々な民族楽器とのコラボレーション、語りや朗読とのジョイントなど多彩な表現活動を行う。2020年、長唄・囃子演奏団体「かぎろひの会」結成。国立音楽大学非常勤講師、東京学芸大学非常勤講師、国立劇場養成課講師（2006～2008）。横笛「苑の会」主宰。



■大塚惇平

ヴォイスパフォーマンスの活動を通して笙の響きの世界と出会う。早稲田大学第一文学部にて音楽文化論を小沼純一氏に師事。その後、東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻卒業。卒業後、笙、右舞、和琴、古代歌謡を豊英秋氏（元宮内庁式部職楽部首席楽長）に師事。古典雅楽はもとより、現代音楽や即興演奏、多様なジャンルのアーティストとの表現活動を積極的に行う他、和楽器プロジェクト「和楽奏伝」、ヴァイオリニスト 川井郁子の「オーケストラ 響」などのプロジェクトにも参加。2018年には「SILKROAD JAPAN」を有志と共に立ち上げ、共同代表として日本と世界の伝統芸能のさらなる交流と発展に寄与するべく、活動している。



■木場大輔

甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を原一男師に師事。一方で京都・大阪・東京の古典胡弓および文楽、風の盆、尾張万歳など日本各地で伝わる胡弓の奏法を研究。それらを組合せた演奏法の開発や、低音域を拡張した四絃胡弓の開発、作曲など、胡弓の伝統に新たな光を当てている。2021と2022年、東京・紀尾井小ホールにて胡弓リサイタル開催。NHK Eテレ「新・にっぽんの芸能」などテレビ・ラジオ出演、ユニット活動など、古典を軸に現代邦楽から異分野とのコラボレーションまで幅広く活動している。作曲では胡弓独奏曲から邦楽器や世界の伝統楽器との作品まで展開している。「木場大輔 胡弓の会」「絹擦会」代表。



©JUN TAKUMI

■元永拓

山口県宇部市出身。上智大学外国語学部、NHK 邦楽技能者育成会第44期卒業。大橋伶晴氏、菅原久仁義氏に尺八を師事。2008年、シドニーでの World Shakuhachi Festival 2008 に招待演奏家として招聘され、尺八3重奏曲「focus」を発表。2011年、国際交流基金派遣事業により中米3ヶ国で公演。現在までに海外40ヶ国63都市で公演。2012年新純邦楽ユニット WASABI として3月にCDアルバム「WASABI」を発表しメジャーデビュー。2014年度文化庁東アジア文化交流使。NPO 法人日本音楽集団理事、上智大学箏曲部講師。



■小湊昭尚

4歳より民謡はじめ舞台活動を開始。琴古流尺八を佐々木大盟氏、故人間国宝山口五郎氏に師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科尺八専攻卒業。2004年 avex から『ZAN』でボーカル、尺八でメジャーデビュー、全米デビュー。古典、民謡、ポップス、ジャズなどジャンルを問わず国内外で活動。多数のアーティストのサポート、レコーディングに参加。所属ユニット ALIAKE、The Shakuhachi 5、東京民謡倶楽部、ZAN、般若帝國など。NHK World 『Blends』音楽総合プロデューサー、2022年国際尺八コンクール審査員、JSPN 会員、福島県須賀川市観光大使。民謡小湊流家元。



■篠田浩美

東京芸術大学打楽器科卒業。ソリストとして読売日本交響楽団、吹奏楽団、現代邦楽団体と共演し高い評価を得る。作曲家の新曲初演を多数演奏。幼少期よりピアノコンクール、打楽器コンクールで数々の賞を受賞。DTM 打ち込み作曲、電子パーカッション、パーティー演奏、イベントの司会など活動の場を広げている。リトミックやワークショップなど幼児教育にも熱心に取り組む。映画「大仏廻国」の音楽担当。和楽器奏者としても活躍し歌舞伎・邦楽演奏会にも多数出演。千葉商科大学非常勤講師。起業家としての顔も持ち、音楽教室「PASSIONMUSIC」の代表を務める。「ウーマンビジネスプランコンテスト in Kawaguchi」では優秀賞を受賞。



■望月左太助

幼少期より大田区にて和太鼓を始め、山本寛斎スーパーショー「太陽の船」、国立劇場「日本の太鼓」などに参加。2012年より、歌舞伎囃子を望月左太郎、長唄を東音見純に師事。2019年 東京芸術大学邦楽科邦楽囃子専攻卒業。在学中、稀音家浄観賞、安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。2018年 望月流森下派家元より、望月左太助の名を許される。国内外の演奏会、舞踊会、歌舞伎公演で活動している。

